

— 株主のみなさまへ —

BUSINESS REPORT

2023.4.1 ▶ 2023.9.30



imuraya group

第87期 中間報告書

Be always for Customers!

井村屋グループ株式会社



代表取締役会長 (CEO)
中島 伸子

代表取締役社長 (COO)
大西 安樹

井村屋グループ理念

井村屋グループ各社・各部門そして私たち一人ひとりの活動の原点であり、精神的支柱となるもので、以下3つの要素からなります。

Mission ミッション(社会的使命)

「おいしい!の笑顔をつくる」

安全で安心できる楽しい商品・すぐれたサービスを提供し、お客様の食生活においしい!の笑顔の輪を広げ続けることが、私たちの社会的使命です。

Vision ビジョン(ミッションを果たす道程)

「Be always for Customers!」

社員一人ひとりが、いつでもお客様の立場に立って、いつもお客様のことを意識し、行動しましょう。

Passion パッション(情熱、心意気、行動)

「イノベーション(革新)」

イノベーションの発揮には常に強いパッションが求められます。全体最適を考え、全員でイノベーションに向けて活動することが「特色経営」につながり、新しい付加価値になります。

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第87期(2023年4月1日～2023年9月30日)を終了し中間報告書をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当会計年度における日本の経済環境は、猛威を振るった新型コロナウイルス感染症が落ち着きを見せつつあるものの地政学的なリスクの継続、原油価格高騰に起因する原材料価格の上昇など、景気の先行きは依然不透明な経営環境にあります。

このような厳しい経営環境の中、87期は新たな経営体制にてスタートしました。

当グループの看板商品である「あずきバー」はおかげさまで1973年の発売から2023年で50周年を迎えることができました。これを機にさらなる安全・安心とあずき本来の風味を追求した商品としてリニューアルをしました。

また、7月1日の「井村屋あずきバーの日」(一般社団法人 日本

記念日協会 認定)には4年ぶりにあずきバーのサンプリングイベントを実施させていただき、50年間あずきバーを支えていただいた感謝の気持ちをお伝えいたしました。

今年度におきましては中期3カ年計画「Be Resilient 2023～新しい時代をしなやかに生きる～」の最終年度を迎えます。

SDGsのゴールである2030年を意識しながら、少し先の企業像を描き、持続的な成長(継米)を目指し、グループ全体でチーム力を発揮し事業活動を進めてまいります。

厳しい経営環境ではありますが、井村屋グループの普遍的な考えである「特色経営」「不易流行」を礎として市場拡大への取り組みと生産性向上を主体としたコスト改革を進めてまいります。

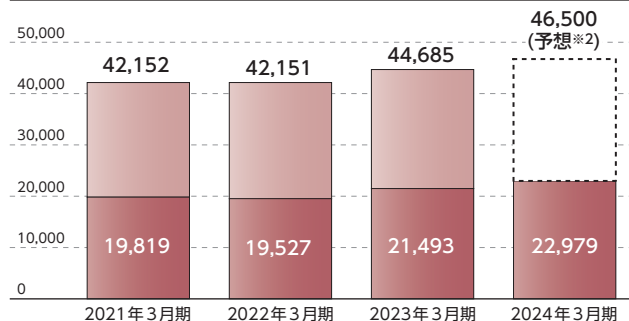
株主のみなさまにおかれましては引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

■ 通期実績 (4月1日～3月31日) ■ 中間実績 (4月1日～9月30日)

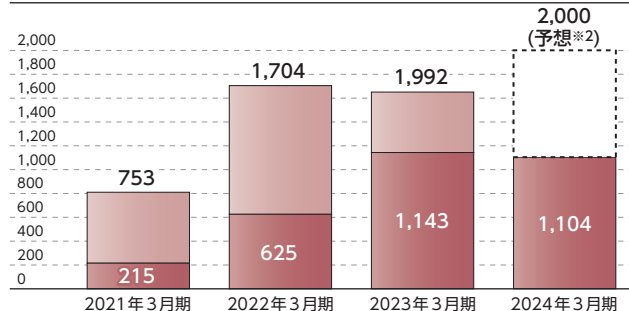
売上高※1

単位:百万円



営業利益

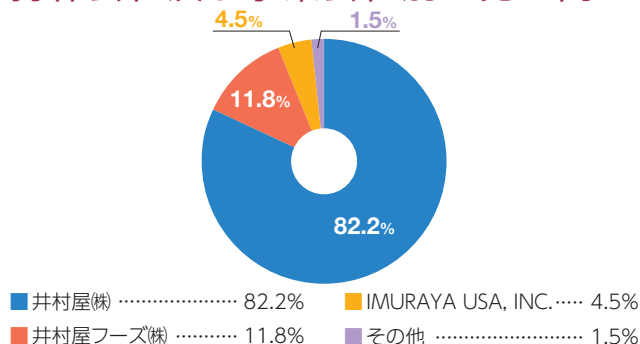
単位:百万円



※1 売上高は2022年3月期より「収益認識に関する会計基準(企業会計基準第29号)」等を適用しております。

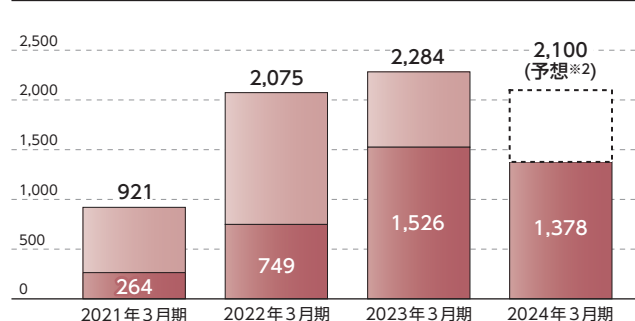
※2 2023年5月11日付の「2023年3月期決算短信」において公表した業績予想を記載しております。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

持株会社及び事業会社別の売上高



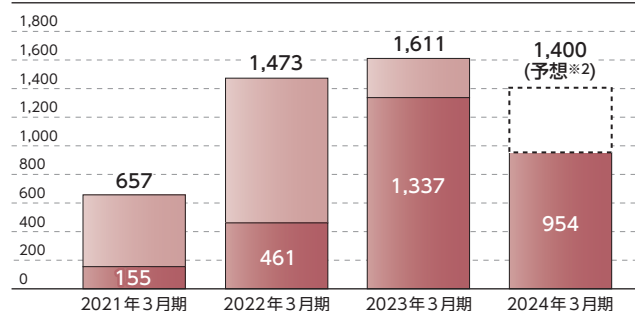
経常利益

単位:百万円



親会社株主に帰属する当期純利益

単位:百万円



井村屋グループ中期3カ年計画

Be Resilient 2023 ～新しい時代をしなやかに生きる～

井村屋グループは2021年度より「Be Resilient 2023 ～新しい時代をしなやかに生きる～」がスタートしております。新しい時代で生き残っていくため、この中期3カ年計画の変革課題を「バランス経営」と定めています。しなやかでバランスのとれた経営を行い、持続可能な「継承」を目指して、目標達成に向けて邁進してまいります。

2024年3月期 目標

<財務指標>

- 売上高 465億円
- 営業利益 20億円 (売上営業利益率 4.3%)
- 海外事業売上高比率 7.5%

<非財務指標>

- 温室効果ガス排出削減: 2013年度比 35%減
- 国内事業廃棄物量削減: 2019年度比 50%減
- 女性管理職比率 15%以上

四半期連結貸借対照表(要約)

単位:百万円

	前連結会計年度 2023年3月31日	当第2四半期連結会計期間 2023年9月30日
(資産の部)		
流動資産	12,735	17,903
現金及び預金	1,689	1,105
売掛金	5,506	10,413
棚卸資産	4,442	5,206
その他	1,098	1,181
貸倒引当金	△1	△1
固定資産	21,371	22,581
有形固定資産	18,347	19,011
無形固定資産	169	150
投資その他の資産	2,854	3,420
資産合計	34,107	40,485
(負債の部)		
流動負債	12,920	18,363
固定負債	2,502	2,646
負債合計	15,422	21,010
(純資産の部)		
株主資本	16,224	16,811
その他の包括利益累計額	2,428	2,637
非支配株主持分	31	26
純資産合計	18,684	19,474
負債・純資産合計	34,107	40,485

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT1 資産

夏物商品の販売及び月末銀行休業日に伴う売掛金の増加などにより、流動資産が増加いたしました。また、新設備導入に伴い有形固定資産が増加し、固定資産が増加いたしました。

POINT2 負債

冬物商品の生産に連動した買掛金、短期借入金の増加などにより、負債が増加いたしました。

POINT3 純資産

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上やその他有価証券評価差額金の増加などにより、純資産が増加いたしました。

四半期連結損益計算書(要約)

単位:百万円

	前第2四半期連結累計期間 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2023年4月1日から 2023年9月30日まで
売上高	21,493	22,979
売上原価	13,710	15,018
売上総利益	7,782	7,961
販売費及び一般管理費	6,639	6,856
営業利益	1,143	1,104
営業外収益	399	301
営業外費用	15	27
経常利益	1,526	1,378
特別利益	449	42
特別損失	7	0
税金等調整前四半期純利益	1,968	1,421
法人税等合計	637	472
四半期純利益	1,331	948
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,337	954

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT1

夏場の冷蔵商品の販売が好調に推移し、調味料事業ではOEM受託商品の売上が伸長しました。

POINT2

原材料価格、物流費用が上昇する中、商品価格の改定を行いました。営業利益は減少いたしました。

POINT3

補助金収入が前年同期より減少した影響などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期を下回りました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

単位:百万円

	前第2四半期連結累計期間 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2023年4月1日から 2023年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	597	△ 1,608
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 902	△ 1,715
財務活動によるキャッシュ・フロー	71	2,689
現金及び現金同等物に係る換算差額	62	50
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 171	△ 583
現金及び現金同等物の期首残高	1,069	1,689
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	109	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,007	1,105

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT1

(営業活動によるキャッシュ・フロー)
前年同四半期に比べ、当第2四半期末日が金融機関の休日だったことによる売上債権の増加により、収入が減少いたしました。

POINT2

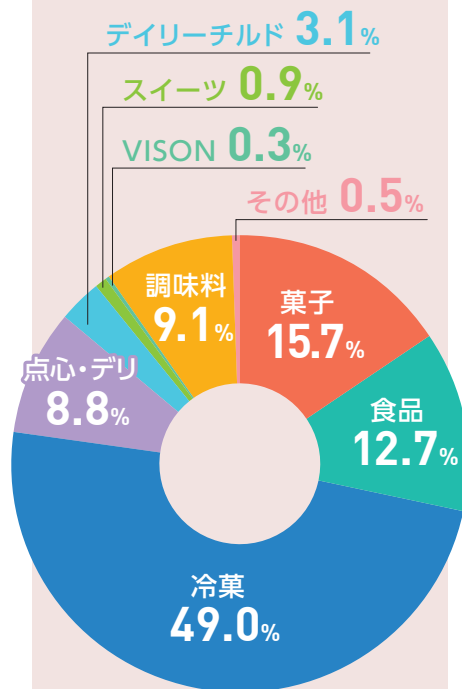
(投資活動によるキャッシュ・フロー)
前年同四半期に比べ、有形固定資産の取得による支出が増加いたしました。

POINT3

(財務活動によるキャッシュ・フロー)
前年同四半期に比べ、短期借入による収入が増加いたしました。

連結売上高

22,979百万円



菓子 3,602百万円

(前年同期比39百万円(1.1%)減)

「片手で食べられる小さなようかん」や「もちりびるんわらびもち」シリーズが順調に推移しましたが、鳥インフルエンザの影響による鶏卵不足から生産調整を行った「**どら焼き**」や「**カステラ**」の売上が減少しました。



食品 2,914百万円

(前年同期比194百万円(7.2%)増)

チューブ入り商品「**トッピング**」シリーズの「**かけるご褒美 あん×バター**」が順調に推移しました。また、新商品「**レンジで煮物 かぼちゃのそぼろ煮**」「**レンジで煮物 なすのみぞれ煮**」を発売し、好評をいただいております。冷凍食品では「**ゴールドまん**」シリーズの売上が増加しました。井村屋フーズ株式会社の食品加工事業では、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、スポーツやイベントの活発化に伴いスパウチ商品の受託加工が順調に推移しました。



冷凍 11,260百万円

(前年同期比1,156百万円(11.4%)増)

発売50周年を迎えた主力商品「**あずきパー**」シリーズが猛暑の影響もあり順調に推移し、上期において過去最高の売上本数2億54百万本を記録しました。50周年の記念商品として新商品の「**こしあんパー**」を数量限定で発売させていただきました。米国のIMURAYA USA, INC.やマレーシアのIMURAYA MALAYSIA SDN. BHD.においても現地で「**あずきパー**」の販売促進活動を積極的に展開し、海外市場での更なる成長戦略に取り組みました。「**やわもちアイス**」シリーズでは、新たにかき氷に着目した新商品「**やわもちアイス 抹茶氷**」が売上増加に大きく貢献しました。



点心・デリ 2,015百万円
(前年同期比212百万円(11.8%)増)

「肉まん・あんまん」などの点心・デリカテゴリーは、8月からのコンビニエンスストア導入が順調にスタートし、付加価値を高めたりリニューアル商品が好調に推移しました。また、新商品も売上増加に貢献しました。



デイリーチルド 722百万円
(前年同期比14百万円(2.1%)増)

豆腐類では「硬め豆腐」や「そのまま食べて美味しい豆腐」が順調に推移し、販売を強化した業務用向け商品の売上が増加しました。



スイーツ 198百万円
(前年同期比68百万円(25.6%)減)

スイーツカテゴリーでは、コロナ禍からの社会経済活動の活性化に伴い集客数も増加し、「La maison JOUVAUD(ラ・メゾン・ジュヴォー)」各店舗の売上は前年同期を上回りました。「アンナミラーズ」では前年の8月31日に「アンナミラーズ高輪店」を閉店した影響により売上は減少しましたが、6月13日にはパティスリーをブランドオープンし、お客様に感謝の気持ちをお伝えするとともに様々なブランドの活用を展開しております。8月にはエキュート品川において期間限定で「アンナミラーズ」のポップアップショップを出店し、連日好評をいただきました。



VISON(ヴァイソン) 57百万円
(前年同期比2百万円(3.8%)増)

福和蔵
左:純米酒 中:純米吟醸 右:純米大吟醸

VISON(ヴァイソン)では、三重県の水と酒米、酵母を使用し、風土に根差し、素材にこだわった日本酒の製造・販売を行う「福和蔵」と、和菓子販売する「菓子舗井村屋」の2店舗を三重県多気町の大型商業リゾート施設にて運営しております。「福和蔵」においては、「福和蔵 純米大吟醸」が、5月に世界的に最も権威のある審査会の一つであるIWC(インターナショナル・ワイン・チャレンジ)2023 SAKE(日本酒)部門「純米大吟醸酒」カテゴリーにおいてゴールドメダルを受賞しました。更に9月には「福和蔵 純米吟醸」が全日本酒鑑評会において金賞を受賞し、高い評価をいただいております。「菓子舗井村屋」においては、「酒々(さざ)まんじゅう 芳醸集」や季節の味覚を取り入れた限定商品を店舗にて販売し、好評を得ております。



調味料 2,095百万円
(前年同期比4百万円(0.2%)増)

国内では井村屋フーズ株式会社のシーズニング事業において、家庭内食向け需要の高まりと健康・機能性素材のOEMが伸長しました。また、9月に竣工した新工場スプレッドライヤー6号機は計画に沿って本格稼働を開始しております。中国での調味料事業は、ゼロコロナ政策終了後の経済回復の遅れもあり、中国国内の売上が減少しました。



その他 111百万円
(前年同期比8百万円(7.7%)増)

イムラ株式会社においてSDGsの一環として井村屋商品のアウトレット販売を行っている「MOTTAINAI屋」は、引き続き地域のお客様に好評をいただいております。また、「ソフトアイスクリーム&スイーツ店WaiWai(ワイワイ)」においては、「アンナミラーズ」のアップルパイや季節のスイーツなどを販売し売場の活性化を図りました。

株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	13,086,200株 (自己株式2,096株を含む)
単元株式数	100株
株主数	12,296名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,164	8.89
株式会社三十三銀行	647	4.94
株式会社百五銀行	578	4.42
株式会社三菱UFJ銀行	559	4.27
井村屋取引先持株会	532	4.07
株式会社サンライフ	321	2.45
株式会社りそな銀行	286	2.18
株式会社西村商店	239	1.82
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	228	1.74
株式会社榎本武平商店	214	1.63

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主様へのインフォメーション

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.imuraya-group.com/ir/ad/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミア市場

- (ご注意)
- 1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)に、お問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
 - 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主様ご優待

毎年3月31日現在及び9月30日現在の株主のみなさまに対し、ご優待品を贈呈しております。上期9月30日現在の株主様のご優待品は12月中旬にお送りいたしております。以下は、2023年9月30日現在の株主様を対象としたご優待品でございます。

100株以上500株未満の株主様

500円相当の井村屋商品



500株以上1,500株未満の株主様

1,500円相当の井村屋商品オリジナルギフト



1,500株以上の株主様

①と②を合わせてお送りいたします。

①1,500円相当の
井村屋商品オリジナルギフト



②1,500円相当のセレクトギフト
次の3種類からお一つお選びいただけます。

冷凍商品詰合せ



福和蔵 日本酒セット
(お猪口付き)
純米大吟醸／純米吟醸
各180ml



和菓子の彩



※②で冷凍商品詰合せをお選びいただいた場合、冷凍商品のためオリジナルギフトとは別便にてお届けいたします。
※「福和蔵 日本酒セット」の純米大吟醸と純米吟醸は、2023年度に各種表彰を受けております。詳細は12ページをご覧ください。

※写真はイメージです。内容が一部変更される場合がありますので、ご了承ください。

片手で食べられる小さなようかん 抹茶

「片手で食べられる小さなようかん」シリーズから、ようかんとして人気フレーバーである抹茶味の『片手で食べられる小さなようかん 抹茶』を新発売しました。「福寿園監修」の宇治抹茶を使用し、抹茶の旨み・渋みをお楽しみいただける本格的な抹茶ようかんです。当社独自の「ギュッと押すだけパッケージ」(特許第6114206号)を採用しており、1本14gの食べきりサイズなので、いつでも・どこでも・手軽に、濃厚で本格的な抹茶ようかんをお楽しみいただけます。また、賞味期間は1年間と長持ちするので、買い置き菓子としても最適です。小腹がすいた時や、ほっと一息つきたい時にぜひお召し上がりください。



4コ入 チョコクリーム大福(チョコあん)

作りたてのおいしい状態を急速冷凍で保存することで、出来立てのおいしさが味わえる冷凍和菓子シリーズの季節限定商品です。やわらかいチョコのおもちでチョコあん、チョコクリームを包んだ、秋・冬の季節にピッタリな「チョコ」のおいしさをしっかりと感じられる3層仕立ての大福です。電子レンジでも使用可能な切り離せるトレーで、お皿を使わず、食べたい時に食べたい分だけ解凍することができます。普段のおやつや食後のデザートにいかがでしょうか。



レンジで煮物 かぼちゃのそぼろ煮・レンジで煮物 なすのみぞれ煮

かぼちゃやなすを入れてレンジで調理するだけで、手軽に「かぼちゃのそぼろ煮」や「なすのみぞれ煮」が作れる惣菜の素です。国産原材料を使用し素材本来の味わいもお楽しみいただけるようにこだわりました。また、本商品はレンジ調理惣菜の素では珍しい「副菜」が作れ、時短調理で手間やメニューを考える負担を軽減しながら献立にもう一品を加えることができます。食卓の副菜としてはもちろん、お弁当のおかずとしてもおすすめです。



BOXやわもちアイス 焦がしみたらし

やわもちアイスシリーズは「甘味処の和スイーツを、おうちで。」をコンセプトに、冷凍下でもやわらかいおもちと様々な素材を重ねた贅沢感を手軽に味わえるアイスです。昨年にやわもちアイス10周年の季節限定フレーバーとして発売し、大変好評をいただいた「焦がしみたらし」をマルチパックにしました。こだわりのみたらしソースとまるで専門店のように焼いたおもちの香ばしさが小ぶりなサイズでお楽しみいただけます。



SHALILI カフェラテアイス

微細氷を使用したなめらかで濃厚な味わいの新アイスブランドです。ブランド名「SHALILI」は微細氷のシャリッとした食感「シャリ(SHALI)」と、様々な素材を組み合わせた食感「とろり」「カリッ」などの語尾「〜り(LI)」を組み合わせた造語で、微細氷を使用したアイス、ソース、トッピングの様々な味わいと食感の変化を表現しています。微細氷入りのなめらかで濃厚なカフェラテアイスに、アイスの中からとろりとあふれるエスプレッソソース、天面にミルクソース、キャンディチップとローストアーモンドダイスのトッピングを組み合わせています。濃厚な味わいと微細氷のすっきりとした後味が秋冬にぴったりな、贅沢な味わいをお楽しみいただけます。



あずきバー 復刻版の発売

このたび、「あずきバー」発売50周年を記念して、「あずきバー 復刻版」を数量限定で発売しました。初代「あずきバー」の“はじまり”の味わいを原料・配合にこだわり再現しています。現行品はすっきりとした味わいに仕上げるためにグラニュー糖を使用していますが、「あずきバー 復刻版」では当時の原料に合わせて上白糖を使用し、コク深い甘さに仕上げました。また、パッケージは小豆色とオレンジ色の水玉柄で、あずきをイメージした当時のデザインを再現しました。当時を知る方には「なつかしさ」、当時を知らない方には「新鮮さ」が感じられるデザインとなっています。



アンナミラズ日本上陸50周年&バーチャルショップオープン

2023年6月13日にアンナミラズは日本上陸50周年を迎えました。その感謝の気持ちを込め周年イベントを実施いたしました。その目玉として、2022年8月に閉店した国内最後の店舗「アンナミラズ高輪店」を3DVR技術を使い、仮想空間上にリアルに再現したバーチャルショップをオープンしました。高輪店をWEB上にそのまま再現した店内にて、漫画家／イラストレーターの江口寿史さん作のアバターウェイトレスがご案内いたします。また、店内を歩くだけでなく限定商品の購入やイメージ動画、懐かしいお店の画像などの演出をお楽しみいただけます。現在アンナミラズブランドは、オンラインショップでパイなどの販売をしながら、不定期で各地にポップアップショップを出店しております。多くのファンに支えられていることを励みにしながら、50周年以降も取り組んでまいります。



バーチャルショップ



チェリーパイ

Anna Miller's

アンナミラズ バーチャルショップ



<https://web1.raycomide.net/sites/amShopPh1/src/index.html>

7月1日は「井村屋あずきバーの日」 4年ぶりに全国3会場で無料サンプリングを実施

2008年から毎年実施していたあずきバー無料サンプリングイベントは、コロナ禍で中止を余儀なくされていましたが、今年は4年ぶりに開催いたしました。東京・大阪・名古屋の3会場で実施し、合計15,000本の「あずきバー」を無料配布しました。東京会場では6月30日から7月2日にかけて「あずきバー」の夏祭りイベントも開催し、スペシャルゲストとして、「あずきバー」と同じく、今年で活動50周年を迎えるガチャピンとムックが登場しました。意外なゲストに会場は盛り上がりました。また、海外事業会社（米国、中国、シンガポール、マレーシア）においても50周年記念としてサンプリングを実施しました。



7月1日は「井村屋あずきバーの日」の由来

あずきは古くより、縁起の良い食べ物、健康の源として毎月1日と15日に食されてきました。この良き風習を今の時代へ継承していくため、また皆さまの健康に寄与したいという思いからあずき製品を多く取り扱う井村屋グループが「毎月1日はあずきの日」として制定し、日本記念日協会より認定を受けました。また、あずきをたっぷりを使用した「あずきバー」を食べて暑い夏を乗り切っていただきたいという思いから本格的な暑さを迎える7月1日を「井村屋あずきバーの日」として制定いたしました。

..... あずきバー サンプリングイベントの様子



大阪会場



名古屋会場



東京会場

福和蔵 IWCゴールドメダル受賞&全米日本酒飲評会金賞受賞

VISION事業で運営しております福和蔵について、世界的なワイン品評会であるIWC(インターナショナル・ワイン・チャレンジ)のSAKE部門純米大吟醸酒カテゴリーにおいて、「福和蔵 純米大吟醸」が初出品でゴールドメダルを受賞しました。また、日本国外で最も歴史の長い日本酒の品評会である全米日本酒飲評会においても「福和蔵 純米吟醸」が金賞を受賞しました。2021年の開業から酒質と第三者評価の向上を図るため、国内外の日本酒コンテストに積極果敢に挑戦してきた成果となります。今後の福和蔵の更なる販売拡大にむけて、より一層アピールしてまいります。



福和蔵 純米大吟醸



福和蔵 純米吟醸



福和蔵 公式オンラインショップ



<https://fukuwagura-shop.com/>

井村屋フーズ スプレードライヤー新設

井村屋フーズ株式会社 七根工場は調味料や機能性素材となる各種の粉末を生産しています。その主力生産設備として液体を高温の熱風で瞬時に乾燥させ粉末化するスプレードライヤー設備が3機あります。

今後の生産拡大に対応するため老朽化した従来設備に対して2倍の生産量が得られる設備更新を図り、2023年9月初旬から本格稼働しました。

今回の設備更新により、新スプレードライヤーを含む3機の総生産キャパシティは年間2,700トンと従来比3割増となり、生産効率も良くなるためCO₂排出量も削減されます。

生産能力を増強することで、国内では健康・機能性市場向けの事業を拡大し、海外市場への拡販も視野に入れていきます。



乾燥塔
(液体を乾燥させる装置)

紺綬褒章 受章

井村屋グループは、本社所在地である三重県に対してスポーツ推進を援助したことが認められ、紺綬褒章をいただきました。今回の紺綬褒章は、2021年に開催予定だった三重県国民体育大会(三重国体)が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、井村屋グループとして三重国体へ寄附予定であった寄附金を、今後のスポーツ振興に役立ててほしいと協力したことが評価されました。三重交通グループホールディングス株式会社、株式会社グリーンズと3社合同での紺綬褒章の対象となり、伝達式が2023年8月に三重県庁にて行われました。



伝達式の様子



中央左:代表取締役会長 中島 伸子

自由記 東蝦夷日誌七編 寄贈

井村屋グループが制作協力し、株式会社たけしろうカンパニーが取材・制作いたしました「自由記 東蝦夷日誌」が完成しました。三重県が生んだ偉人で北海道の名付け親でもある松浦武四郎が残した紀行文の1つを現代語訳した「自由記 東蝦夷日誌七編」を北海道、松阪市、三重県にそれぞれ寄贈しました。各自治体からは土屋北海道副知事、竹上松阪市長、一見三重県知事に出席していただき、それぞれ500冊贈呈いたしました。

本取り組みは2017年の創業120年・会社設立70周年事業の一環でスタートし、今回の東蝦夷日誌は、「自由記 十勝日誌」(2017年)「自由記 西蝦夷日誌七編」(2020年)に続き3冊目の発刊となります。寄贈した本は今後各自治体の図書館や学校などで活用される予定です。



6月 北海道 贈呈式の様子



7月 松阪市 贈呈式の様子



7月 三重県 贈呈式の様子

持株会社 概況(2023年9月30日現在)

井村屋グループ株式会社

本 社 所 在 地 三重県津市高茶屋七丁目1番1号
創 業 明治29年(1896年)
設 立 昭和22年(1947年)4月
資 本 金 2,576百万円
従 業 員 数 42名 ※グループ全体では963名(2023年9月30日現在)
事 業 内 容 事業会社の経営管理、事業会社に対するコンサルティング、
不動産の賃貸・管理

役員・執行役員	代表取締役会長(CEO)	中島 伸子
	代表取締役社長(COO)	大西 安樹
	取締役 取締役会議長(COB)	浅田 剛夫
	取締役副社長	岩本 康
	取締役副社長(CFO)	富永 治郎
	常務取締役	岩上 真人
	取締役	近藤 久嗣
	取締役	益川 博
	取締役(社外)	田中 里沙
	取締役(社外)	福谷 朋子
	取締役(社外)	田中 洋
	常勤監査役	脇田 元夫
	常勤監査役	森井 英行
	監査役(社外)	若林 正清
	監査役(社外)	土田 繁
	執行役員専務	甲斐下方俊
	執行役員常務	行方 貞彦
	執行役員常務	井村 慎
	執行役員常務	岡田 孝平
	執行役員	尾崎 弘二
	執行役員	平田 裕一

井村屋グループ株式会社ウェブサイト
<https://www.imuraya-group.com/>

井村屋ウェブショップ
<https://www.imuraya-webshop.jp/>

井村屋株式会社 公式X(旧Twitter)
https://twitter.com/IMURAYA_DM

井村屋株式会社 公式YouTube
<https://www.youtube.com/channel/UCoatWqnjbDnfrmkGEzehOCw>

事業会社 概要(2023年9月30日現在)

より詳しい内容は、各社ウェブサイト、井村屋グループウェブサイトの「グループ企業紹介」(<https://www.imuraya-group.com/outline/group/>)を参照ください。

井村屋株式会社
所 在 地：三重県津市高茶屋七丁目1番1号
事業内容：菓子、食品、デイリーチルド、点心・デリ、冷菓、スイーツ、酒類の製造販売
代 表 者：岩本 康、益川 博 URL：<https://www.imuraya.co.jp/>

井村屋フーズ株式会社
所 在 地：愛知県豊橋市中原町字地歩24番地の1
事業内容：菓子、食品、冷菓、調味料、食品添加物の製造販売
代 表 者：菅沼 重元、近藤 久嗣 URL：<https://www.imurayafoods.co.jp/>

イムラ株式会社
所 在 地：三重県津市高茶屋五丁目6番1号
事業内容：リース代理店業務、不動産管理業務等
代 表 者：岩上 真人 URL：<https://www.imura-kk.co.jp/>

北京京日井村屋食品有限公司
所 在 地：中国北京市豊台区榴郷路88号 石榴中心11号楼103
事業内容：調味料の販売
代 表 者：大西 由晃 URL：<http://www.imuraya.cn/jif/>

井村屋(北京)食品有限公司
所 在 地：中国北京市豊台区榴郷路88号 石榴中心11号楼102
事業内容：菓子、点心・デリの販売、菓子、食品の輸入販売
代 表 者：大西 由晃 URL：<http://www.imuraya.cn/ibf/>

IMURAYA USA, INC.
所 在 地：2502 Barranca Parkway Irvine, CA 92606, USA
事業内容：冷菓の製造販売及び菓子、食品、冷菓の輸入販売
代 表 者：甲斐下 方俊(COO) URL：<https://www.imuraya-usa.com/>

井村屋(大連)食品有限公司
所 在 地：中国遼寧省大連市旅順口区長城街道大房身村
事業内容：菓子、調味料の製造販売
代 表 者：大西 由晃、上田 長平 URL：<http://www.imuraya.cn/idf/>

井村屋(北京)企業管理有限公司
所 在 地：中国北京市豊台区榴郷路88号 石榴中心11号楼101
事業内容：中国事業会社全体の資金管理及び事業戦略に関する支援業務
代 表 者：大西 由晃 URL：<http://www.imuraya.cn/icm/>

井村屋スタートアッププランニング株式会社
所 在 地：三重県津市高茶屋七丁目1番1号
事業内容：グループ各社が有する技術の新規事業または創業の支援
代 表 者：大西 安樹

IMURAYA MALAYSIA SDN. BHD.
所 在 地：Unit 32-01, Level 32, Tower B, The Vertical Corporate Towers,
Avenue 10, Bangsar South, No. 8, Jalan Kerinchi, 59200 Kuala Lumpur
事業内容：冷菓の製造、販売、輸出入
代 表 者：大西 安樹、小川 篤(MD) URL：<https://www.imuraya.com.my/>



見やすいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。



おいしい！の笑顔をつくる

井村屋グループ株式会社

<https://www.imuraya-group.com/>



あずき花

